

取付説明書

the installation of an H.I.D. conversion kit.



ご注意

この度は、CATZ HIDシステムをお買い上げいただきましてありがとうございます。
正しく、安全にお使いいただくため、ご使用前に本「取付説明書」をよくお読みください。また、本製品をご使用いただく間、必ずお手元に置いてお読みください。

本製品の取付け、配線には専門の技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

製品仕様

[H.I.D.バルブ]

- タイプ : H4

- 消費電力 : 35W

ワシタノクルマを何とかしたい
発売元 FET エフ イー ティー

アサヒライズ株式会社 エフィーティー事業部
〒379-2131 群馬県前橋市西善町2004
CATZ HOT LINE TEL.027-266-7435

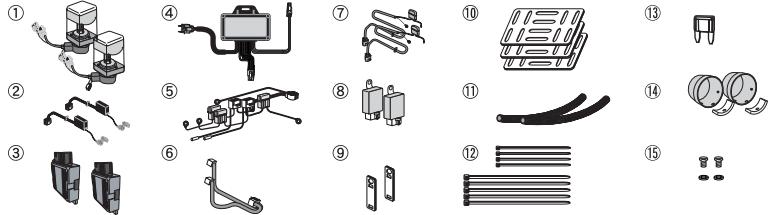
[イグナイタ]

- 品番 : FE-C12-360
- 無負荷二次電圧 : 19~35kv

[インバータ]

- 品番 : FE-C12-350
- 定格入力電圧 : DC 12v
- 定格出力 : 85v, 35W

△構成部品



NO	品名	個数	NO	品名	個数
①	H.I.D.バルブ	2	⑨	イグナイタ用汎用ステー	2
②	イグナイタ	2	⑩	インバータ用汎用ステー	3
③	インバータ	2	⑪	コレゲートチューブ	2
④	H.I.D.コントロールユニット	2	⑫	タイラップ(大・小)	5-3
⑤	コントロールハーネスA	2	⑬	ミニフレードヒューズ	1
⑥	コントロールハーネスB	2	⑭	フード・スペーサー	各2
⑦	インバータ電源ハーネス	2	⑮	ネジ(M3×6)・スプリングワッシャー	各2
⑧	コントロールリレー	2			

△装着前に、必ずご確認ください。

- 1) 本製品はエンジン始動時にオートライトモード(オートライトスイッチON)になっていると、HIDが点灯しない場合があります。
これは始動時の車両側電力供給の低下などの要因が関係します。不点灯になった場合、一旦、スイッチをOFFにして再度ONにするとHIDは点灯します。
※エンジンを止める際にオートライトモードを解除しておく事をお勧めします。
- 2) アイドリングストップ機能装着車への装着についてアイドリングストップ機能が付いたお車へHIDキットを装着される場合は、バッテリー電源線をサブバッテリーではなく、確実に電力の取れるメインバッテリーへの装着をお願いします。※一部の車両にはバッテリーが2ヶ搭載されています。
- 3) アイドリングストップ状態からエンジン始動の際、一瞬、配光にチラツキが起きる場合があります。これはセル始動により車両側の電圧が一時的に低下する為に起こる現象です。HIDキットの不良ではありません。
- 4) コーナーセンサー(ソナー)が装着されている車両の場合、コーナーセンサー(ソナー)が誤作動の可能性があります。
- 5) 耐久年数の過ぎているバッテリーをご使用されると、バッテリーの電圧低下によりH.I.D.の不点灯やシステムの不具合が起こる可能性があります。
また、電装品を多く取付け、ご使用されていると、バッテリーに負担がかかりH.I.D.システムが正常に作動しない場合があります。不点灯になった場合、一旦、スイッチをOFFにして再度ONにして点灯するか確認を行なってください。

△使用に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

- 必ず、バッテリーのマイナスケーブルを外す。
- ランプ、ホーン、ワイパー、オーディオなどの車両電装品が正常に作動するか確認する。
- 接続不良の検査と修理
- 車両のコネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクター本体を持ってロックを外すこと。
- 車両のコネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクター本体を持ってロックを外すこと。

- 車両のコネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクター本体を持ってロックを外すこと。
- コネクターやターミナル端子は、確実に接続の事。
- ハーネス(配線)配索の際は車両のワイヤリングハーネスに沿ってまとまり、クラップを使用して固定しうらがらせない。
- ハーネス配索後、修復前に取り付けた部品の動作チェックを行うこと。

- 部品の取付けや、外したフニッシャー類を取り付ける際は、裏側のハーネスをひっかけたりかみ込んだりしないこと。
- 車両のワイヤーリングハーネスを強く引く張らないこと。
- ハーネス断線を防止する。

※ハーネス断線を防止する。

※ハーネス断線を防止する。

△取扱(取付)に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

装着作業をおこなう際は下記項目を必ずお守りください。

- ※下記の項目をお守りいただけずに発生したトラブルに関しては、クレームとしてお受けできません。
- 取付作業を開始する前に、必ずシステムの作動確認をおこなってください。
- ※バルブパッケージは未開封の状態でイグナイタ、インバータを仮接続し、バッテリー電源などを使用し点灯確認をおこなってください。
- ※バルブパッケージ開封後は、クレームとしてお受けできません。(但し、製品上のトラブルは除く)
- ※点灯テスト手順は、別項の点検要領をご参照ください。

○取付作業をおこなう前に、バルブ挿入部の奥行き測定を必ずおこなってください。

- ※下記のタイプ別寸法をご参照の上、ノギスなどの測定器具を使用し、バルブ取付面を基準面とし、シェードやレンズまでの距離を測定してください。
- 下記の寸法を満たしていれば装着可能ですが、寸法に満たない場合は、装着作業を中止してください。

- H4タイプ 测定距離が58mm以上
- ヘッドライトにハロゲンバルブと電源コネクターが付いている状態で電源コネクタ背面から障害物まで39.55mm以上後方スペースが必要です。

○H.I.D.バルブの装着作業をおこなう際は、必ず車両からライトを取り外しておこなってください。

- ※H.I.D.バルブはとてもデリケートです。装着作業をおこなう際は必ず車両からライトを取り外した状態でおこなってください。

○車両のライトヒューズ容量を必ず確認してください。

- ※システム起動時に電気容量が必要となりますので、車両側ライトヒューズの容量を必ず確認してください。
- ライトヒューズの容量が15A以下の場合は、15Aヒューズ(最大20A)と交換をおこなってください。

○イグナイタ、インバータの取扱は慎重におこなってください。

- ※イグナイタ、インバータは精密な電子回路の集合体です。落したり、配線を引張ったりしないでください。
- また、システム作動中は高電圧が発生しておりますので装着や点検作業をおこなう場合、必ずライトスイッチがオフになっていることやバッテリーの端子が取外されていることを確認の上、作業をおこなってください。

○インバータ、イグナイタの取付けに際しては、水や熱がかかりにくいエンジルーム内へ確実に固定してください。

○ヘッドライト減光システム及び純正のオートライトコントローラーとの併用はできません。

- ※一般的な減光システムは、出力電圧を自動で調整(上げ下げ)することでライトの光量調整(減光)をおこなう装置で、オートライトコントローラーは、車外の明るさに応じて自動的に車両のスマートランプおよびヘッドラムプを点灯または消灯させる装置です。H.I.D.システムと併用した場合、減光システムの作動に伴う最低起動電圧(9ボルト)を下回り、電圧不足や、オートライトコントローラーの作動に伴う点灯/消灯の繰り返しにより、不点灯やシステム破損の原因となります。

△安全に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

△警告

- ガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。

破損した場合、ガラス破片が飛散しケガの原因となります。

- 紙や布などでおおつたり、燃えやすいものに近づけないでください。

火災の原因となります。

△注意

- このH.I.D.システムは高電圧(約2万ボルト)を発生しますので取扱い(取付け)には充分ご注意ください。イグナイタ、インバータ、インバータ電源ハーネスは、車両側の他のハーネス、コンピュータなどと一緒に束ねないでください。ノイズの発生や電圧降下をお避け故障の原因になります。

- ライト点灯や消灯直後は、手や肌などで触れたり洗車などは、おこなわないでください。

点灯や消灯直後はライトのレンズやボディが熱いのでヤケドの原因となることがあります。また、点灯中や消灯直後の洗車は温度差によるレンズ割れの原因となることがあります。

- ※洗車やライト付近の作業をおこなう場合は、充分にさました後、作業をおこなってください。

点灯中の光(電球)を間近で長時間見つめないでください。

目が痛くなったり、視力障害の原因となります。

- 感電の恐れがありますので、バルブを接続しない状態で電源を入れないでください。

H.I.D.バルブをイグナイタへ接続しない状態で、ライトスイッチをオンにするとイグナイタ側のH.I.D.バルブ接続端子部に高電圧が発生し、感電する恐れがあります。また、この状態でライトスイッチをオフにしても高電圧が残る(遮断後約300msec以内)し、感電する恐れがあります。

- ライトの光軸が適正位置であるかを必ずご確認ください。

このシステムは、通常のハロゲンバルブより明るさが増すため、光軸が合っていないかたり、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがあります。

△使用に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

○停車中(信号待ちなど)の点灯／消灯は頻繁におこなわないでください。

点灯／消灯をくり返すことによりバルブ内部の電極が消耗し短寿命や不点灯など、システムがトラブルを起こす原因となります。

(注)ライトスイッチの点灯／消灯を短い間隔でくり返すと点灯／消灯しない場合があります。

これは、インバータの安全装置が作動して起るものの故障ではありません。

この症状が出ていた場合、数秒の間隔(10秒以内)を置いてから再点灯をおこなってください。

○下記症状は使用環境や状況によって発生するもので製品不良によるものではありません。

この症状はインバータの裏面や裏蓋等によって発生する症状で、クレームの対象とはなりませんので、ご理解の上ご使用ください。

- 1) 点灯直後や再点灯時に10~120秒間赤帯を赤や青白い色など、通常の点灯色にならないことがあります。

- 2) 左右のライトが同時に点灯しないことがあります。

- 3) 左右の照射色が異なることがあります。これは商品の固体差により発生するものでクレーム対象とはなりませんので、ご理解の上ご使用ください。

○一部の車両において、球切れモニターが点灯する場合があります。

この症状は、車両側ライトの電気制御系統とH.I.D.システムの相性により発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

○改造、分解は絶対におこなわないでください。

この商品は、精密電子回路の集合体です。システムの作動中は高電圧を発生しますので、インバータ・イグナイタ・H.I.D.バルブなどの改造や分解は絶対におこなわないでください。また、改造や分解、不当な修理に起因した生じた故障および損傷については、製品保証の対象外となりますので、ご了承ください。

△使用中におかしいな？と思つたら！

- 1)速やかに車両を安全な場所へ移動し、停車させてください。

- 2)ライトスイッチを消灯状態にして、数秒後再度点灯をおこなってください。

- 3)上記作業を何度も行っても症状が改善されない場合は、再度10分から20分程度電源を切り(ハザードは除く)、その後再点灯をおこなってください。

※上記作業をおこなって正常にどちらか、インバータの安全回路が作動し発生した症状なので、そのままご使用されても問題はありません。

もし、症状が改善されない場合やその他のトラブルが発生した場合は、最寄りの駐車設備のある場所へ車両を移動し、速やかに、購入・取付けをおこなった販売店へご相談ください。

H.I.D.バルブ点灯テスト要領

☆H.I.D.バルブの点灯テストはケース開封前に必ず実施してください。

当商品は出荷前に振動／点灯試験を実施しておりますが、装着作業を円滑に進める上で取付け作業前に、下記点灯テスト要領をご参照の上、必ず点灯確認作業をおこなってください。

△点灯テスト手順

- ①H.I.D.バルブを開封する前に左図をご参照の上、H.I.D.バルブ、イグナイタ、インバータ、電源線をそれぞれ接続してください。
- ②接続終了後、入力線の黒線をバッテリーのマイナス側端子へ仮接続してから、入力線の赤線をバッテリーのプラス側端子へ接続してください。
- ③H.I.D.バルブが点灯すればテストは終了となります。

△ご注意

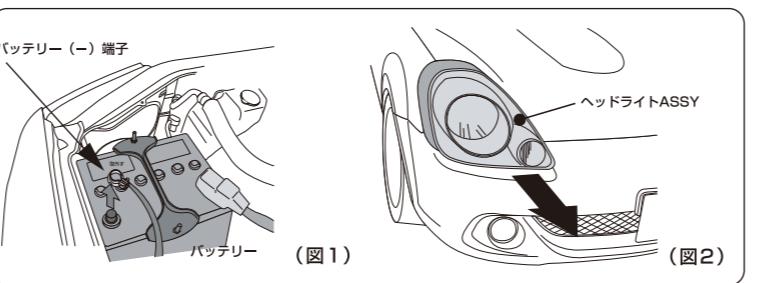
- △点灯テストは、10秒以内で終了させてください。指定時間以上点灯をおこなった場合、ヤエダやバルブベースの溶解などが原因となります。

- △点灯テストで、点灯が確認できない場合は、直ちに取付け作業を中止してください

H.I.D.取付手順

1. 電源の遮断 (図1)

バッテリーのマイナス(-)端子を取り外すなどで車両に供給される電気を遮断してください。
※バッテリーのマイナス(-)端子を取り外すとラジオや時計などのメモリーが消えてしまいます。
端子を取り外す前に記録を残してください。また、作業終了後には、必ず元の状態に復帰してください。



取付けに関するご注意

※H.I.D.システムを取付けの際、車両側コンピュータの近くや車両側配線と配線を束ねないでください。
また、IGN(イグナイタ)、IGN(イグナイタ)、H.I.D.システムの配線を束ねるとノイズの発生原因となる場合があります。
車両によりH.I.D.システムのノイズが影響し、ラジオノイズや故障の原因となる場合があります。
この様な場合、配線の取り回しやイグナイタ、インバータの取付け位置、アースポイントの変更を行なってください。

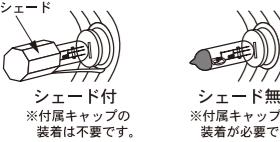
2. ヘッドライト脱着 (図2)

車両からヘッドライトASSYを取り外してください。
※車種により脱着方法が異なります。脱着の手順などは、整備解説書などをご参考ください。

3. H.I.D.バルブの取付け

△ヘッドライトにシェードが無い車両へ装着する場合

ヘッドライトにシェードが無い車両へ装着すると、車種によっては散光(光の飛び散り)が多くなる場合があります。この様な車両へはセットに付属のキャップをH.I.D.バルブのシェードに取り付けてご使用ください。



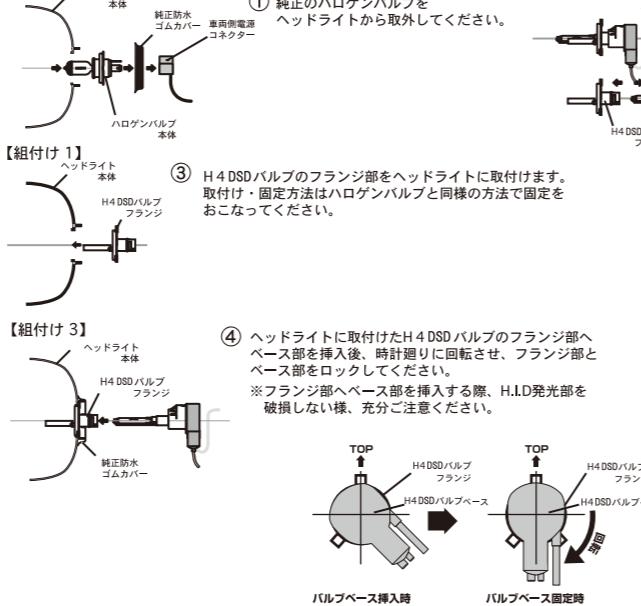
くくく組付け手順

（作業を始める前に）
H4 DSDバルブ装着手順に従いフランジ部とベース部を切脱してからフードの取付け作業を行ってください。

- 1 フードスペーサーの端面をフードのガイドに添わせながらフードスペーサーをフードにセッティング位置を合わせてください。※1
- 2 フードスペーサーの内側にシェードをセッティング位置を合わせ付属のネジ(M3)とスプリングワッシャーを使用し、フードとシェードを固定してください。
- 3 最後にシェードとフードが確実に固定されているか、ご確認いただき固定されれば、取付け作業は終了となります。

ご注意
●エードとフードの固定ネジは締め過ぎないよう十分ご注意ください。
●最初フードの有無をご確認の上、装着作業を行ってください。

H4 DSDバルブ装着手順

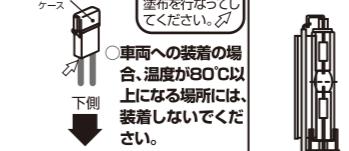
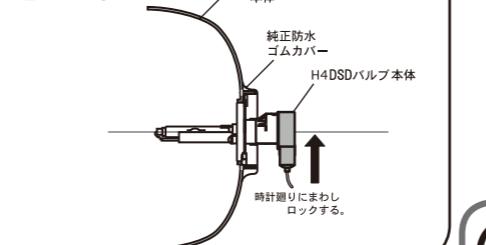


① 純正のハロゲンバルブをヘッドライトから取外してください。
② H4 DSDの分解

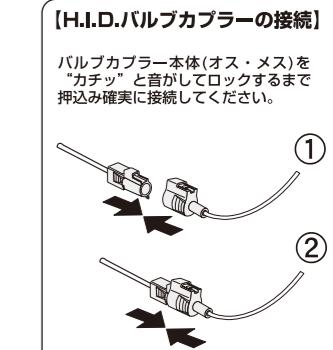
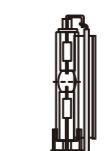
③ H4 DSDバルブのフランジ部をヘッドライトに取付けます。
④ ヘッドライトに取付けたH4 DSDバルブのフランジ部へベース部を挿入後、時計回りに回転させ、フランジ部とベース部をロックしてください。

※フランジ部へベース部を挿入する際、H.I.D.発光部を破損しない様充分ご注意ください。

【完成図】



H4 DSDバルブ



4. イグナイタの取付け (図3)

1) イグナイタをイグナイタ用汎用ステーとタイラップ(大)で、図の様に車体へ組付けてください。

※車種により取付けの場所や方法が異なりますので固定方法は取付けされる車種ごとにご検討ください。
2) 1)で組付けたイグナイタをヘッドライト周辺の高温になりやすい場所や水などの掛かり易い場所を避けて車体へ確実に固定してください。

※アドバイス
※イグナイタ本体をタイラップなどで固定する場合、強く締め過ぎると、変形や破損する場合がありますので、十分ご注意ください。

5. インバータの取付け (図4)

1) インバータをインバータ用汎用ステーとタイラップ(大)またはインバータ本体にある3ヶ所の固定ブラケットにボルトナットで、車体へ組付けてください。
※車種により取付けの場所や方法が異なりますので固定方法は取付けされる車種ごとに異なります。

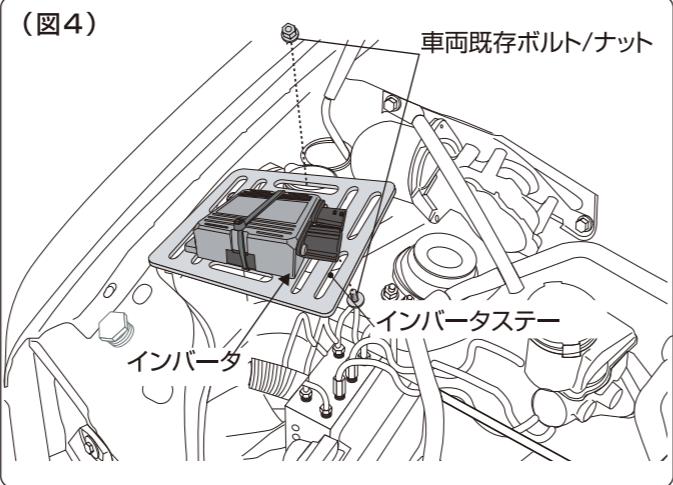
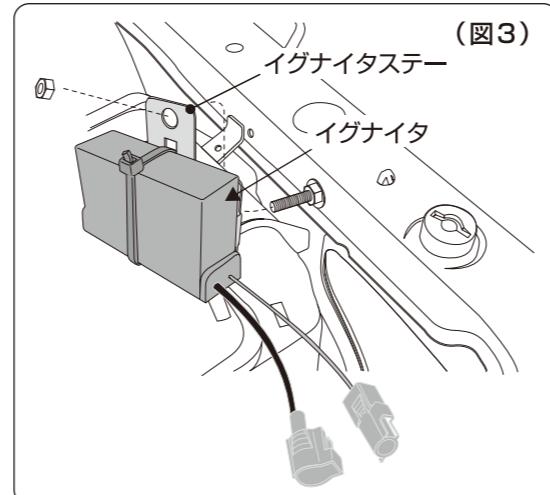
付属のステーを車体の取付け場所に合う様加工をご検討ください。

※文中のボルト、ナットは付属しておりませんので、別途ご用意ください。

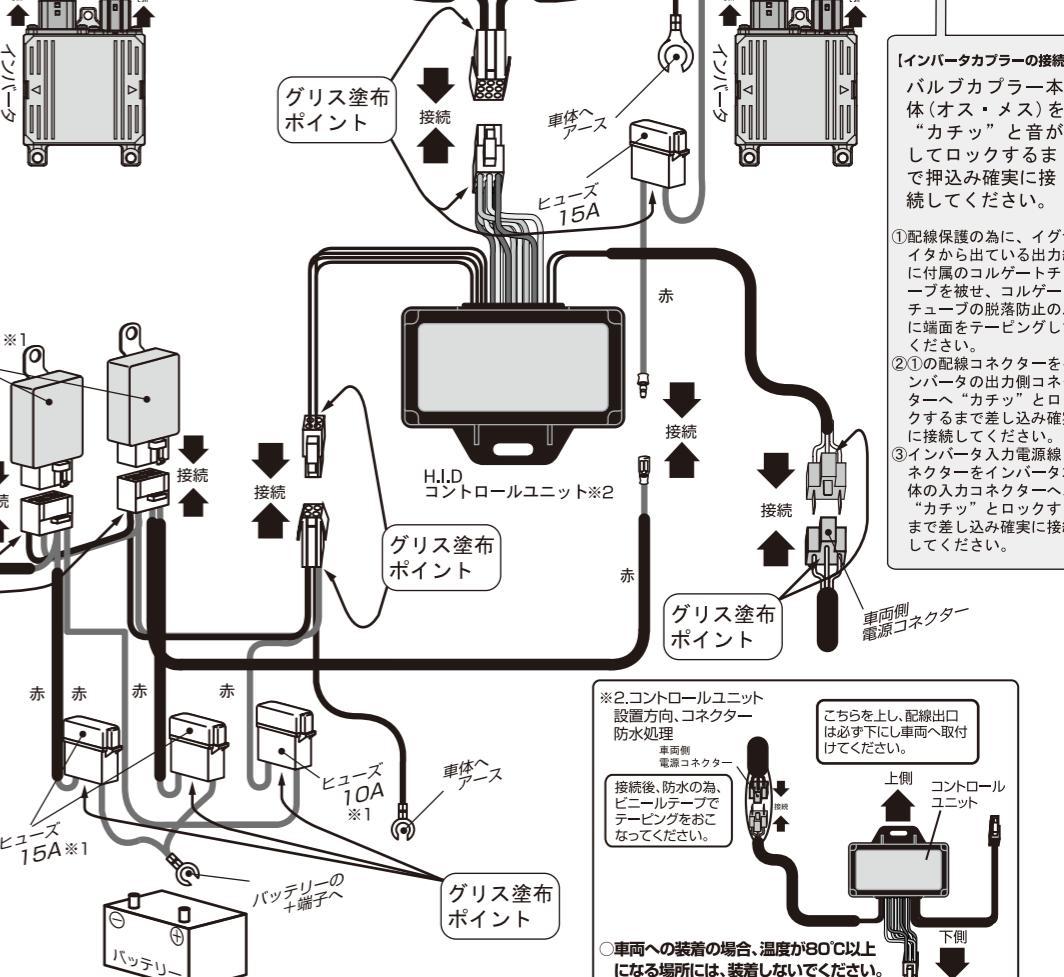
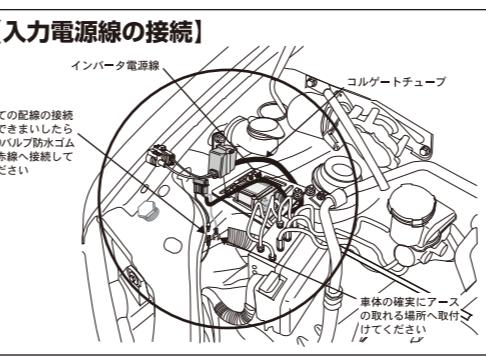
(取付に必要なネジサイズ及び個数) M5×15ボルト、M5ナット 各6個)

2) 1)で組付けたイグナイタをヘッドライト周辺の高温になりやすい場所や水などの掛かり易い場所を避けて車体へ確実に固定してください。

※アドバイス
○バッテリーや他の電子機器などのプラス(+)電位がインバータ、H.I.D.システムに接触しない様、十分に注意してください。
接続させてしまうとインバータの故障の原因となります。
○インバータは電子回路を使用した精密部品の集合体です。
車輛へ取付ける際は、激しい振動やガタツクなど無い様、確実に車体へ固定してください。
○イグナイタ、インバータの作動温度域は、-30°C~+80°C以内です。
極端に温度が上昇する様な場所(ラジエーターやエンジンの近く)への取付けは、絶対に行なわないでください。



カプラー、ヒューズケースの防滴対応として
グリス塗布を行ってください。

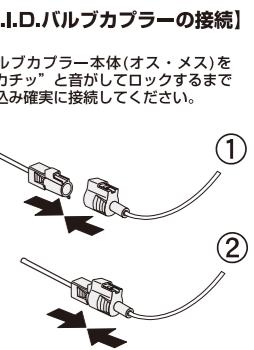


6. 車両の復帰

H.I.D.取付手順1~5の作業で、車両から取外した部品を元の状態へ復帰させてください。
最後に必ず点灯テストと光軸の確認および調整をおこなってください。
この時点での動作に不具合(点灯しないなど)が発生した場合は、前項のトラブルシューティングをご参照の上、各部の点検をおこなってください。

ご注意

※アース取得端子部の接触不良の原因による点灯不良にご注意ください。
しっかりとアースを落せる部位に取付け、経年劣化による錆対策を行ってください。
※バッテリーマイナス側に電流センサーが装着されている車両へ取付ける場合、バッテリーマイナス端子に接続しないでください。車両側充電制御が最適に行えないことがあります。
この様な車両の場合、ボディアースへ接続してください。



[インバータカプラーの接続]
バルブカプラー本体(オス・メス)を“カチッ”と音がしてロックするまで押込み確実に接続してください。

- ①配線保護の為に、イグナイタから出ている出力線に付属のコルゲートチューブを被せ、コルゲートチューブの脱落防止の為に端面をテープで固定してください。
- ②①の配線コネクターをインバータの出力側コネクターへ“カチッ”とロックするまで差し込み確実に接続してください。
- ③インバータ入力電源線コネクターをインバータ本体の入力コネクターへ、“カチッ”とロックするまで差し込み確実に接続してください。

